

ボランティアだより 2019・3月 155号

ふれあいひろば

松川町社会福祉協議会 TEL 0265-36-3778 編集・発行 ボランティア連絡会 編集部

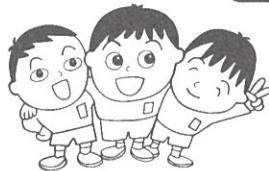
*ボランティアだよりは皆様からご協力いただいた共同募金配分金で発行しています。



第37回 福祉を考える集会



「子どもの居場所がみんなの居場所」



～ここがあってよかった～



31.2.16(土)開催 参加者151名



大勢の参加者



思いを出し合いましょう

第37回 福祉を考える集会が、2月16日(土)「えみりあ」で開かれました。昨年に引き続き、子育てについてでしたので、今年は昼12時半から開催したところ若いお父さん、お母さんの姿が見られました。

子ども課からは、松川町の子育ての現状報告が“子育て支援センターおひさま”や、児童館を利用している方の声と、“うちの子育てルール”と題してのお話。また部奈地区公民館で行っている活動など、具体的な事例発表がありました。

また保健福祉課からは、福祉時事報告で、仮称“元気センター”的可能性、展開について話されました。

その後、8つの小グループでの話し合いでは、多くの意見や思いが出され、全体会で発表されました。

“えみりあ”ロビーでは、アンサンブルや松川高校などが出店され、休憩や帰り際には大勢のお客さんで賑わっていました。 福祉を考える会 原 節子



福祉を考える集会に参加して

自分の子育ては大丈夫なのか？



西山宮下智博

昨年から子育てがテーマとなり、知らなかつた事が多く勉強になつたので、今年も参加させていただきました。

事例発表を通じ、様々な視点から松川町の子育てを見ることにあり、改めて自分の子供との向き合い方は、これで良いのどうつかと考えるきっかけとなりました。

グレー・パワーで印象に残つたのは、まだまだ子育て世代に支援の情報が届いていないという事を痛感しました。

また、それぞれの人生の中で、どんな時にどんな支援を必要としているかを知ることが難しいけど、とても大切な事だと感じました。



児童館に入つてみると、子

供同士が支え合つている姿が見られてすばらしいと思う。

出産の若年化、高令化の現実

安心して出産できる地域であ

りたい。家族的サポートのな

いへ、高令者家族の支援と子育てが重なつてゐる人もいる。



嬉しい子どもさんの参加も！



居場所

“テーマ”子どもの居場所、がみんなの居場所“私にどつては、しつくりしないお題でした。

自分の子育て中は、二、三世代が一緒に暮らし、それそれが一件の家を守り、地域とのつながりを大切にしてきましたので、それが数年のうちに社会全体が、無縁社会となり、色々な問題が出てきているんですね。

今回、何人の方の発表をお聞きして、地域の人たちが、子どもを守り、人と人が相互扶助のつながりを持ち、支え合いのネットワークを作っていく必要が大であることを、再認識いたしました。

上新井　自由人

集会の意見シートから

働いている男性が、育児休暇を取り、奥さんが働き、続けて

いると言う体験。「我が家のルール」を話し合つて決めている「民主的な家族観」の報告を受けて、みんなの目が開いた。

夫婦における「想いの共有」を大事にしている。

不平不満を抱き、言い合いもあると…。男女平等に立つ

「現代的家族像」が生まれているようである。

男女平等の実現について、討論し合いたい提起であった。



ボランティアのつどい

音楽を通してコミュニケーションをとりましょう

ボランティア連絡会



去る、2月5日、ボランティア連絡会では、社協会議室にてボランティアのつどいを開催しました。

このつどいは、ボランティアさん同士の横のつながり、親睦を深めましょうということで、年一回行なっています。今年は、駒ヶ根市在住の音楽療法士、河野繁子先生をお招きし、音楽を通して「ミニュニケーションをとりましよう」ということ、当日は、20数名の方の参加を頂き開催しました。

先生と一緒に運び込まれてくるたくさんの荷物に「何事か?」と思ったのですが、つどいが始まると同時に、机の上に置かれたキーボードで「ふるさと」が演奏されると、自然に参加者から歌声が出て、最後には大合唱となりました。

続いて歌いながら体を使ってコミュニケーションをとったり

チームに分かれて合唱したり、先生の荷物の中から出てきた太鼓やタンブリン等の楽器を使って、大きな声で歌って笑って、とても楽しいひとときを過ごすことができました。最初からしまっていたムードも終わりの頃には、和やかに、大きな笑い声に包まれていました。

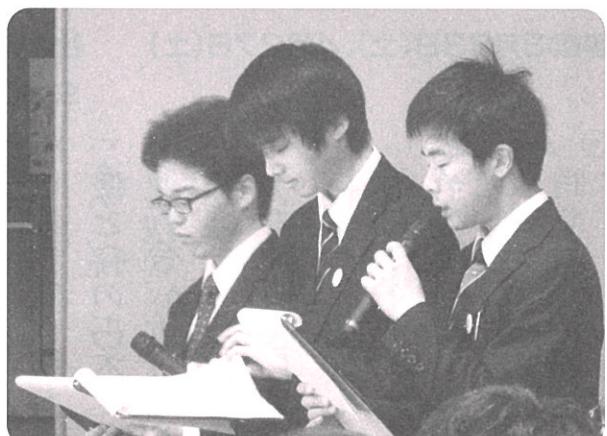
その後、先生を交えての話し合いで、グループの悩み事や質問も出て、有意義な時間を過ごすことができました。

佐々木孝子



飯伊ブロックボランティア部の活動発表 @根羽村 2月24日(日)

松川高校ボランティア部の活動発表 会場から感動の拍手!



この日は飯田下伊那のボランティア関係の方約180名が出席し、松川町からは6名のボランティアさんが参加されました。

活動発表では、松川高校ボランティア部の生徒さんから、普段の活動の様子や、東北支援の様子をお話しいただきました。東北支援では、毎年町内40件のりんご農家さんが寄付に協力くださり、100kgものりんごを届け続けているそうです。結びには、「地元に恩返しするため、シンヘ戻ります」といいます。

という力強い言葉があり、会場は大きな大きな拍手でいっぱいになりました。

コミカフェ「小さなボランティア」 児童館へあやとりのプレゼント



入試の前日の午後、学活の時間にクラスのみんなが「入試頑張って」と思って応援歌を歌ってくれました。僕はびっくりしたけど、嬉しかったです
幹3年2組 宮下京介

〈クラスでのできごと〉

城山のコミュニティカフェには、毎月1度「小さなボランティア」の日があり、参加者の方が、布切りや、雑巾作りなど、温かい活動を続けてくださっています。今回は、児童館の子どもさんへあやとりをプレゼントしよう！ ということで手づくりであやとりを作っていました。

「久しぶりにやったけど、手が覚える」「今の子もあやとりをやるんだな～」とおしゃべりをしながら、短時間で30本以上のあやとりが完成しました。児童館では、女の子も男の子もあやとりをするそうで、とても喜んでいました。小さなボランティアが、たくさんの子どもさんを笑顔にしてくださいました。ありがとうございました。

■ノンタンの会:4月9日(火)、4月23日(火)

5月14日(火)、5月28日(火)

えみりあ1F交流室にて

10:30~

■おもちゃ図書館:3月23日(土)、4月27日(土)

社協多目的ホールにて

9:30~

ボランティアグループ
活動予定



松川南小学校卒業
松井すみ子

遠い昔の校舎を思い出している。校庭の東側には今も残る銀杏の大木、南には二高金次郎の石像と桜の古木、その一角に藤棚があつたつけ。

運動会が近づくと、昼休みには足の速いリレーの選手たちが、藤棚の下に集合してバトンタッチの練習をしていました。私はその様子を眺めながら、羨ましく思いながらお掃除をしていました。

その後、南小学校は校舎の老朽化に伴い、新築され現在の松川中央小学校になりました。当時七百人を超える児童が通っていました。新しく校歌が流れて、卒業の歌も変わってきました。春が来るとあの卒業式の歌が今も聞こえてくるのです。

今こそ卒立つ卒業生 お幸せにお幸せに…♪